



村内外から約4千人が集まりにぎわった昨年の「ふだいまるごと海産まつり」。一人ひとりが知恵を出し合って、目標に向かうことが村の未来につながります

今年一月九日には、普代村・野田村両村の任意合併協議会を立ち上げるに至り、本協議会では、行政全般にわたるさまざまな事項について、協議、検討を重ねてきております。

これらの取り組みで今後、住民の皆さま、村議会議員

村民一丸で 希望の村を

以上、平成十六年度の行財政運営の方針と主な施策、予算編成方針について申し上げます。

予算概要や内容につきましては、簡単な説明で終わらせていただきますが、国が強行している行政改革、地方分権、市町村合併の推進などにより、地方公共団体は非常に厳しい行財政運営を強いられております。

本村のこれまでの歴史を振り返り、先人たちが並々ならぬ苦勞に苦勞を重ねてこれまでに築き上げてきた村に思いをはせれば、私どもは、今こそ村民が一丸となって立ち上がらなければなりません。夢や希望を実現させていく

の皆さま方と共に合併について考えていく上の判断材料を提示し、次の段階の法定協議会の対応について、さらに広く議論を深め、方向づけをしなければなりません。皆さま方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ためには、変革を恐れない勇氣、そして、未来への希望を失わない強靱さが必要です。この普代村に誇りを持ち、恵まれた自然や、歴史文化などの資源を活かし、痛みや苦しみを共有しながら、総合発展計画の基本理念とする「地域資源を自ら活かし、自立できる村づくり」に村民の皆さんと一緒に、将来の普代村について議論し、ともに汗を流し、「勇氣、元氣、やる氣」を持って普代村の未来を切り開いていくことが、私どもに課せられた責務であると深く認識し、精一杯努力してまいります。

村民の皆さま及び村議会議員の皆さまの、より一層のご理解、ご協力と村民一丸となった村づくりへの積極的なご参加を、心からお願ひ申し上げます。私の所信表明といたします。